

A41 DES とはデット・エクイティ・スワップの頭文字であり、債務の株式化のことを指します。

【解説】

DES は企業再生の一手法として利用されてきましたが、平成 18 年の税制改正において株式化する債務の時価評価が必要になっています。役員借入金という負債を株式化するために DES を行う場合もありますが、役員借入金を時価評価することは困難であるため、通常の DES ではなく、疑似 DES という手法が良く利用されているようです。

疑似 DES とは、役員借入金に相当する増資を行い、その資金によって、役員借入金を返済するという手法です。この場合には、みなし贈与の規定を検討する必要があります。みなし贈与の規定に該当した場合には、贈与税を負担しなければなりません。

DES や疑似 DES を行う際は、増資後の資本金等の金額に注意しなければなりません。資本金等の金額によっては、*地方税法において均等割りの増加や外形標準課税の適用対象となることが考えられます*